

JSS 関東甲信越 第8回地方会

「超音波講演会および一般演題発表会のお知らせ」

実行委員長 白石周一

主催 JSS 関東甲信越地方会・日本超音波検査学会

関東甲信越地方会の講演会はその名も「Up Date セミナー」。毎回、当地方会委員が厳選した最強の講師陣による、わかりやすくタメになる講義が盛り沢山。また、最新の知識や技術などもご紹介していきます。

今回の講演会では「ドブラを使ってみよう！」というコンセプトで、これまでにあまりドブラ機能を使っていない方、自分のドブラの使い方に不安や疑問のある方などを対象に講演会を企画しました。ドブラ検査においては装置のセッティングやちょっとしたコツを知っていれば何も恐れることはありません。当会選りすぐりの講師陣が、実際の症例を提示しながら、検査のコツや診断のためのノウハウなどを講義いたします。

また、今回は一般演題発表も行いますので、多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

テーマ：Up Date セミナー「ドブラを使ってみよう！」&一般演題発表会

日時：2007年9月23日（日）秋分の日 10時00分～16時30分（受付開始9時20分）

会場：はまぎんホール ヴィアマーレ（収容人数：480名）

参加費：正会員・事前登録：1,000円、正会員・当日受付：1,500円 非会員（事前登録なし）：3,000円

ご注意：*今年度から地方会に事前登録制を導入しています。確実なご参加には事前登録をおすすめします。

詳細は機関誌と学会ホームページ（<http://www.jss.org/>）をご参照ください。

*事前登録は登録時点で入会が承認されている会員の方のみご利用が可能です。非会員の方や入会手続き中の方はご利用いただけません。

*事前登録の方のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加は受けできません。学会ホームページ内の地方会のページで必ず申込み状況をご確認の上、ご来場ください。

*事前登録で空席がある場合にのみ当日のご参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

*地方会へのご参加の方は事前登録の有無に関わらず、今年度発行の会員証をご持参ください。

*会場内でのビデオカメラおよびデジタルカメラでの撮影は禁止といたします。

*会場内では食事禁止となっております。

*本会への参加で日本超音波医学会認定の検査士資格更新、5単位が取得できます。一般演題発表者は参加5単位に加え、発表5単位の取得が可能です。



はまぎんホール ヴィアマーレ

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

横浜銀行本店ビル1階

TEL：045-225-2173

□電車

・JRまたは横浜市営地下鉄線

桜木町駅下車 動く歩道利用にて徒歩5分

・みなとみらい線

みなとみらい駅下車「クイーンズスクエア連絡口」

「けやき通り口」より 徒歩7分

□駐車場がございませんので、ご来場の際は公共の交通機関等をご利用ください

連絡先：〒259-1143 神奈川県伊勢原市下糟屋143 東海大学医学部付属病院 臨床検査技術科 白石周一

TEL：0463-93-1121（内線6247）（平日の16時以降にお願いします）

E-mail：shiraishi@jss.org（できるだけE-mailをお願いします）

時 間	内 容
9:20~9:55	受 付
9:55~10:00	オリエンテーション
10:00~10:50	<p>第Ⅰ部 ドブラを使ってみよう(胆道・膵臓)</p> <p>講師：山本真一(東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科)</p> <p>司会：上牧隆(筑波大学附属病院 検査部)</p> <p>日常行われているBモードでの検査に簡易的にドブラを組み合わせることで、血管と胆管・膵管の鑑別、腫瘍の鑑別診断、腫瘍の浸潤度判定など、検査の質的診断能を向上させることができます。これらについて実際の症例を呈示しながら解説いたします。</p>
10:50~10:55	休 憩
10:55~11:45	<p>第Ⅱ部 ドブラを使ってみよう(肝臓)</p> <p>講師：武山茂(国立がんセンター中央病院 臨床検査部)</p> <p>司会：山本真一(東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科)</p> <p>肝腫瘍性病変の典型例を含め、良・悪性の境界病変や鑑別診断に苦慮した症例を取り上げ、ドブラの使い方や超音波診断に有用な手技・知識などについて解説いたします。</p>
11:45~13:00	昼 食 ・ 休 憩
13:00~14:00	<p>第Ⅲ部 一般演題発表</p> <p>座長：白石周一(東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科)</p> <p>演題1 「乳腺腫瘍において超音波所見と病理組織結果が不一致だった症例の検討」 西海隆行¹、小澤雅子¹、高山恵子¹、藤野敦子¹、松島真衣子¹、西尾典子¹、橋本健一¹、清水みのり¹、神白和正¹、高見実² (東京都立府中病院 検査科¹、同外科²)</p> <p>演題2 「肝外に認められたPV-HV shuntの一症例」 中野英貴、渡辺秀雄、美濃亜紀子、松田優子、山田逸美、幡野薫 (小張総合病院 検査科)</p> <p>演題3 「超音波ドブラ検査が有効であった腎細胞癌症例」 永井悟、岳野さやか、本畑淳子、長谷川恵子、窪寺泉、畑中一志 (茅ヶ崎徳洲会総合病院 臨床検査部)</p> <p>演題4 「膀胱子宮内膜症の一例」 中嶋純子¹、林規隆¹、高瀬万由美¹、森永正二郎²、大川あさ子³ (北里研究所病院 診療技術部臨床検査科¹、同病理科²、同泌尿器科³)</p> <p>演題5 「精巣疾患におけるカラードブラの有用性」 森田遊、佐藤和秀、寺島茂 (神奈川県厚生連相模原協同病院 医療技術部検査室)</p>
14:00~14:05	休 憩
14:05~14:45	<p>第Ⅳ部 ドブラを使ってみよう(泌尿器)</p> <p>講師：山口秀樹(国立国際医療センター 臨床検査部)</p> <p>司会：佐藤和秀(厚生連相模原協同病院 医療技術部 検査室)</p> <p>カラードブラが有用であった腎・尿管・膀胱症例を提示し、診断のポイントや走査時の注意点などを解説します。</p>
14:45~14:50	休 憩
14:50~15:40	<p>第Ⅴ部 ドブラを使ってみよう(甲状腺・副甲状腺など)</p> <p>講師：来住野修(埼玉医科大学 国際医療センター 中央検査部)</p> <p>司会：宇治橋善勝(北里大学病院 臨床検査部)</p> <p>超音波検査を行うにあたりBモードだけで充分であるとの考えもありますが、Bモードではできないこともあります。ドブラを使うことによって①機能を推定できる、②腫瘍の質的診断や今後の増大傾向を推定できる、③FNAの安全性やPEIT療法における穿刺位置の決定や効果判定に役立つ。これらのことについて基礎から解説したいと考えております。</p>
15:40~15:45	休 憩
15:45~16:30	<p>第Ⅵ部 ドブラを使ってみよう(体表領域その他)</p> <p>講師：小沼清治(総合守谷第一病院 生理検査室)</p> <p>司会：白石周一(東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科)</p> <p>頸部をはじめ色々な表在部位において「しこり」を目的とした検査依頼があります。反応性リンパ節腫脹で良いのか？ドブラを利用した鑑別方法なども併せ、当院の経験症例からその超音波像を報告いたします。</p>